

ともにのびる



「わたしのせいじゃない」そんな自分はいませんか？

11月12日の学年集会の中で、『わたしのせいじゃない』という絵本をリーダー会のみなさんが読んでくれました。学校の図書館にもあるので、興味のある人はもう一度読んでみてください。

『いじめ』を“しない”、“正当化しない”、“加担しない”、“傍観しない”というメッセージは伝わりましたか。一人一人が自分の問題として考えることが、何よりの『いじめ』予防策・解決策になります。泣いている子がいても平気で知らん顔ができる人ばかりのクラスや学校は、みんなが過ごしやすく、誰にとっても安心安全な場所といえるでしょうか。そして、あなたにとっても本当に楽しく心地よい居場所と言えるでしょうか。あなたの中にも「わたしのせいじゃない」と考えている子はいませんか？

この絵本が伝えたいことは『いじめ』についてだけでなくあります。それは、“自分の身のまわりの様々なできごとに対し、ひとりひとりが「自分事」として考えていくことで、変えられることがある”ということだと思います。身近なことでは「ベル着などの学校生活のルール」「集団生活でのマナー」「係活動」「友達との関係」、もう少し広げると「交通マナー」や「環境問題」など、様々なことにもつながると思います。学校生活の雰囲気をつくるのはみなさんひとりひとりです。今一度自分自身をふり返って考えてみましょう。ひとりひとりが考えて行動することで、もっともっとよりよくクラスを、学年を変えていけるはずです。



学校の図書室にもあります

はじめたときのこと
みていないから
どうしてそうなったのか
ぼくは知らない

おおぜいでやってたのよ
ひとりではとめられなかった
わたしのせいじゃないわ

学校のやすみじかんに
あったことだけど
わたしのせいじゃないわ

おおぜいでたたいた
みんなたたいた
ぼくもたたいた
でもほんの少しだけだよ

はじめたのは わたしじゃない
ほかのみんなが たたきはじめてたのよ
わたしのせいじゃないわ

自分のせいじゃないか
その子がかわってるんだ
ほかの子はみんな ふつうなのに

ほんとうは わたし みたの
だから 知っているの
でも とにかく
わたしのせいじゃないのよ

考えることがちがうんだ
ぜんぜんおもしろくないんだ
自分のせいだよ

たたいても わたしは
へいきだった
みんな たたいてたんだもの
わたしのせいじゃないのよ

先生に いいつければいいのによ
わむしなのよ
わたしには かんげいがないわ

そんなことなかったら
その子のこと ほとんどわすれてたわ
なにもいわなんだもの

